

●看護部業績

《学会発表》

1. 木口綾子：進行初期の在宅神経難病療養者のくらしと訪問看護の役割・第18日本在宅医学会大会第21回日本在宅ケア学会学術集会合同大会・平成28年7月16日（東京）
2. 牛田亜由美：パートナーシップ・ナーシング・システム（PNS）を導入して～実施1ヶ月後のアンケート結果をもとにして～・日本医療安全マネジメント学会第15回九州・山口連合大会・平成28年9月17日（佐賀）
3. 迎 京子：地域医療機関看護師への褥瘡体験型研究の効果・日本医療安全マネジメント学会第15回九州・山口連合大会・平成28年9月17日（佐賀）
4. 佐々木真由美：多職種による特別室利用向上への取り組みとその効果・日本医療安全マネジメント学会第15回九州・山口連合大会・平成28年9月17日（佐賀）
5. 浦 あずき、福留隆泰、川井早紀、田上優紀、前海孝徳、草津民子、松本みゆき、大木一弘：気管内喀痰自動吸引システムが神経・筋難病患者の療養に及ぼす結果の検討・第3回筋ジストロフィー医療研究会 2016年10月15日（名古屋）
6. 松本みゆき：人工呼吸器装着患者に対する療養介助専門員の外出支援状況・H28年度筋ジストロフィー研究会・平成28年10月15日（名古屋）
7. 佐々木真由美：多職種による特別室利用向上への取り組みとその効果～・第70回国立病院総合医学会・2016.11.11（沖縄）
8. 富永文子：地域医療機関との連携による地域看護職員への教育研修の取り組み・第70回国立病院総合医学会・2016.11.12（沖縄）
9. 出口祐子：「訪問看護ステーションさくらそう」開設1年を経過して～利用者进行分析した経営の安定化の一考察～・第70回国立病院総合医学会・2016.11.11（沖縄）
10. 迎 京子：地域医療機関看護師への褥瘡ケア体験型研修の効果・第70回国立病院総合医学会・2016.11.12（沖縄）
11. 石橋彩佳：外科系病棟でPNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）を導入後の経験年数による看護師の教育的効果・第70回国立病院総合医学会・2016.11.11（沖縄）
12. 執行真由美：デスカンファレンスでの振り返りから見えてきたもの～神経筋難病患者の意志決定支援を困難にしている要因とその対応～・長崎医療マネジメント学会第17回長崎学術集会・平成29年2月18日（長崎）
13. 上本真一：腹臥位体位固定マニュアルの作成～マニュアル実施前後の発赤の発生率の変化～・長崎医療マネジメント学会第17回長崎学術集会・平成29年2月18日（長崎）
14. 田崎英子：栄養管理における看護師の認識の現状分析・H28年度長崎県看護協会県央支部看護研究発表会・H29年3月11日（諫早）
15. 前川輝平：長期療養病棟における看護史の栄養管理に対する行動変化～プライマリー看護史が主体となる嚥下カンファレンスを活用して～・H28年度長崎県看護協会県央支

部看護研究発表会・H29年3月11日（諫早）

16. 富澤めぐみ：ノロウイルス・インフルエンザ・第3回院内感染対策研修会・H28年12月（当院大会議室）